

ラオス概況

2024年5月

- ❖ 人口：約2.48億人(ASEAN全体6.8億人超)
- ❖ 面積：194.4万km² (日本の約5.1倍)
- ❖ 経済成長、中間層・富裕層の拡大
- ❖ 2015年末 ASEAN Economic Community (AEC) 設立



		ラオス	カンボジア	ベトナム	ミャンマー	タイ
						
人口		753万	1,677万	9,819万	5,418万	7,170万
GDP	総額 (名目購買力平価)	154億ドル	897億ドル	13,213億ドル	2,639億ドル	14,821億ドル
	一人当たり (名目購買力平価)	2,054ドル	5,350ドル	13,457ドル	4,870ドル	20,672ドル
	成長率	2.7%	5.2%	8.0%	3.0%	2.6%
インフレ率 (GDPデフレーター)		23%	5.7%	3.9%	10.5%	4.7%
法定最低賃金(月額換算)		69.3ドル	200ドル	197ドル	92ドル	173~186.8ドル

出所：人口、GDP、インフレ率は世界銀行 World Bank Open Data (2022年) [World Bank Open Data | Data](https://data.worldbank.org/)

法定最低賃金(月額換算) はJETRO 2022年度 アジア大洋州¹⁾・日本投資関連コスト比較調査 (2023年3月) を元に積算

人 口：約753万人（愛知県：750万人（2022年））
 人口増加率：1.4 % (2022, 世界銀行)
 人口密度：32人/ k m²(2022, 世界銀行)
 面 積：約24万 k m²（本州とほぼ同じ）
 宗 教：仏教（国民の約75%）
 地 勢：高地が国土の約80%。
 農用地は全土の約10%。
 気 候：雨季（5～10月）と乾季（11月～4月）
 民 族：ラーオ族含む、計50の民族
 産 業：労働人口の約7割が農業従事。
 鉱物資源（銅、金等）、水力発電、
 サービス業が経済を牽引。
 部門別GDP：農業（17%）、工業（34%）、
 サービス業（37%）、
 税金と輸入関税（12%）
 （202年、ラオス統計局）
 在留邦人：578人
 （2023年10月現在、海外在留邦人数調査統計）



内政

●安定した政権運営

- ・ ラオス人民革命党による一党体制
- ・ 議会：一院制国民議会（定員164名）
- ・ 選挙：5年毎（第9期国民議会選挙：2021年2月）
- ・ 党大会：5年毎

第11回党大会（2021年1月）では、86年からの改革・開放路線の維持を確認。2021年3月に国民議会が開催され、主要メンバーが決定。トンルン国家主席（兼党書記長）、パンカム首相が選出された。2022年12月に、パンカム首相に代わりソーンサイ首相が選出された。

外交

●各国とのバランスを配慮した善隣・全方位外交を推進

ベトナム：「特別な友好・団結及び全面的な協力関係」。政治・行政面での影響が大きい。

ラオス人民革命党の起源は、インドシナ共産党ラオス地方委員会。

中国：「包括的かつ戦略的パートナーシップ」。近年、経済・政治面での影響力が増大。

タイ：歴史的、文化的、経済的に深いつながり。言語が類似し、生活物資等の輸入の多くがタイ経由。

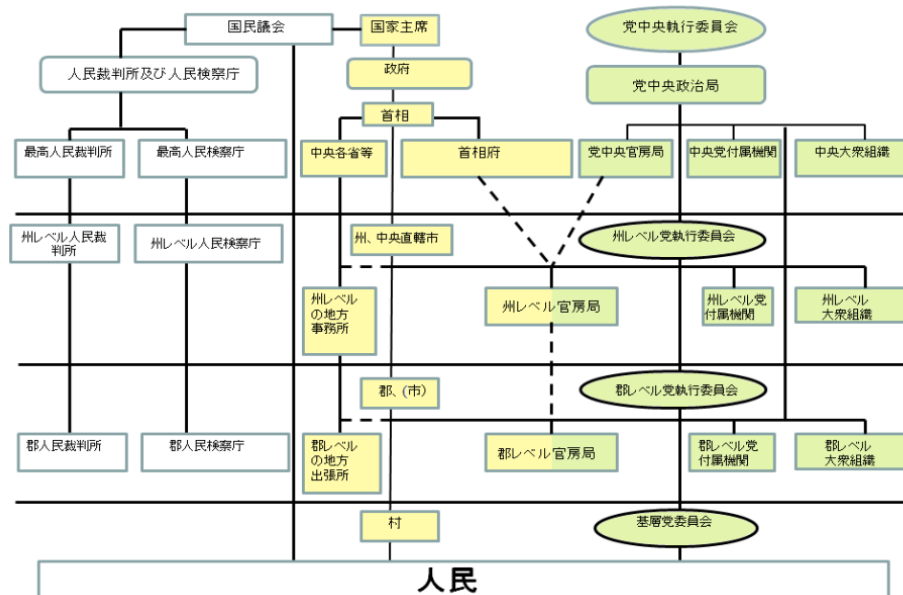
北朝鮮：党交流を中心に伝統的友好関係。

米国：2004年米が通常貿易待遇を付与。2016年に現役大統領としてオバマ氏が初めてラオスを訪問、ベトナム戦争中のラオスへの空爆に対し「米国はラオス回復を助ける道義的責任があると思う」と述べた。

●伝統的な親日国

1955年に外交関係を設立、2025年には70周年。2015年両国関係は戦略的パートナーシップ関係に格上。

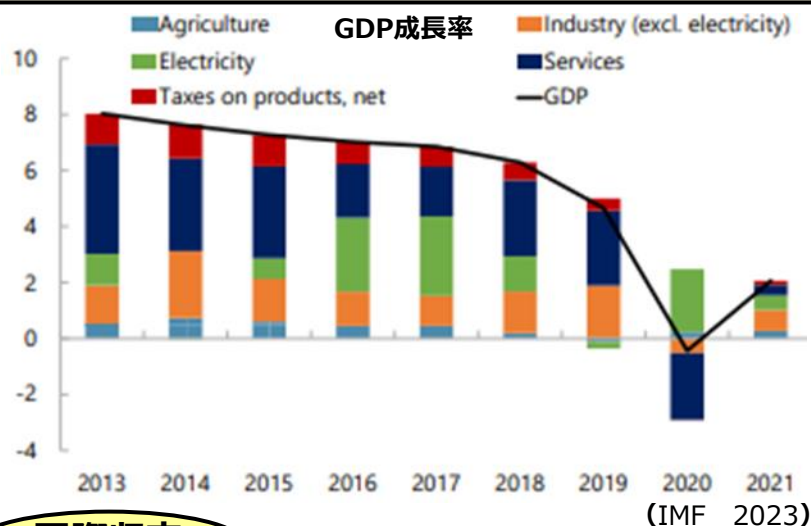
●1997年ASEAN（東南アジア諸国連合）加盟、2024年ASEAN議長国予定。



（出所：CLAIR クレアシンガポール事務所 2021年）

経済成長

2012年頃からの資源価格下落などを受け資源分野から水力発電、サービス業へと経済成長を牽引する産業が転換しつつあった。2020年、コロナ禍の影響もあり成長が鈍化。公共資本支出が抑制されており、直ちにコロナ禍以前の成長率に回帰するのは難しい見込みながら緩やかな回復基調にある。



国際収支

2021年以降資本の流入が止まっている模様。

国際収支 (% GDP)

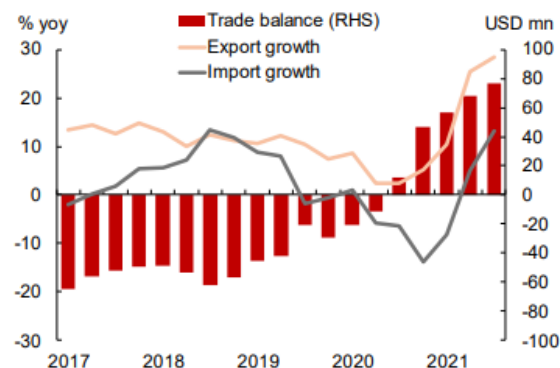
	2019	2020	2021	2022	2023
			Est.	Proj.	Proj.
Current Account	-9.1	-5.1	-0.6	-6.0	-2.6
Capital account	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0

(IMF 2023)

貿易

貿易収支赤字が常態化していたが2020年より改善。2021年、金と紙製品の輸出が伸び、貿易収支は黒字化した。国内生産・製造できない燃料や肥料等の輸入価格高騰により勢いが鈍化している。タイ、中国、ベトナムが近年の主な輸出入相手国。

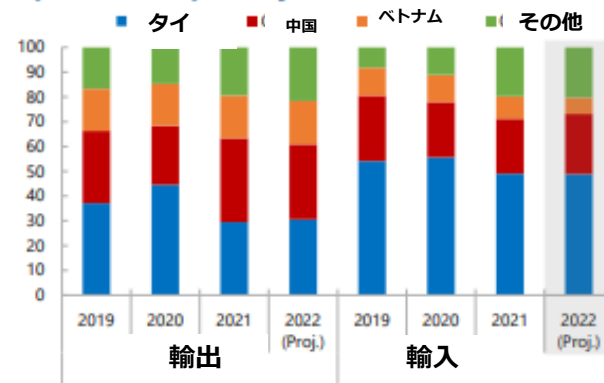
貿易収支



Source: Bank of Laos PDR (BOL)
Note: 4-quarter moving averages

(AMRO)

相手国別輸出入の割合の推移

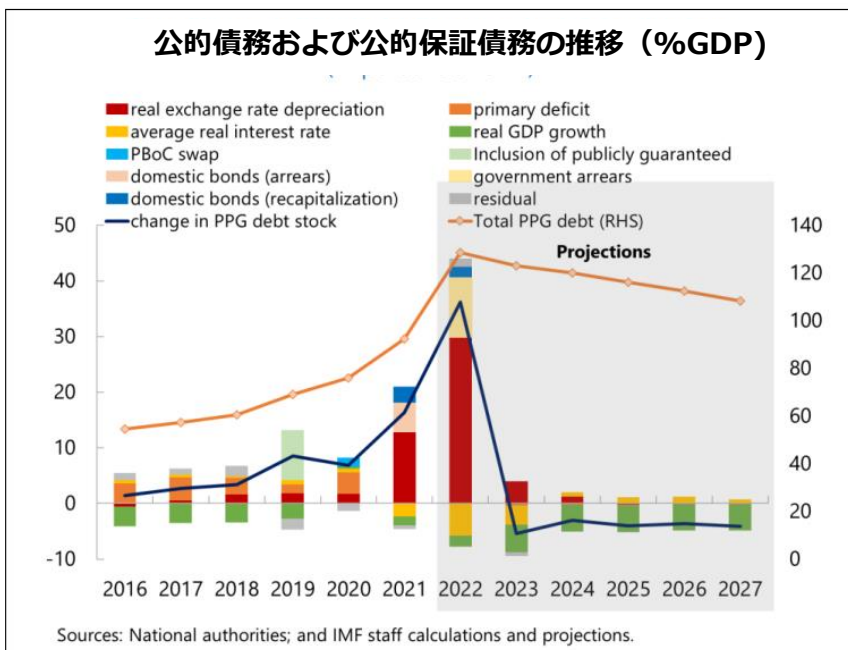


Sources: National authorities and IMF staff calculations.

(IMF 2023)

公的債務

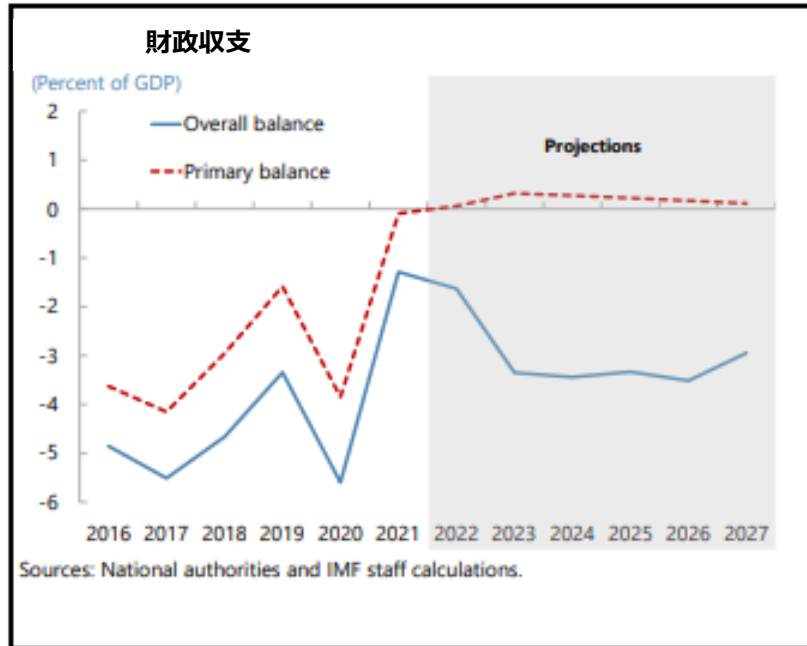
公的債務は長期的な課題
2022年、主として通過下落により債務比率が大幅に上昇。



(IMF 2023)

財政

資本支出の抑制や歳入増等により、基礎的財政収支は2021年以降黒字を達成。
財政収支は赤字だが改善傾向もみられる。



(IMF 2023)

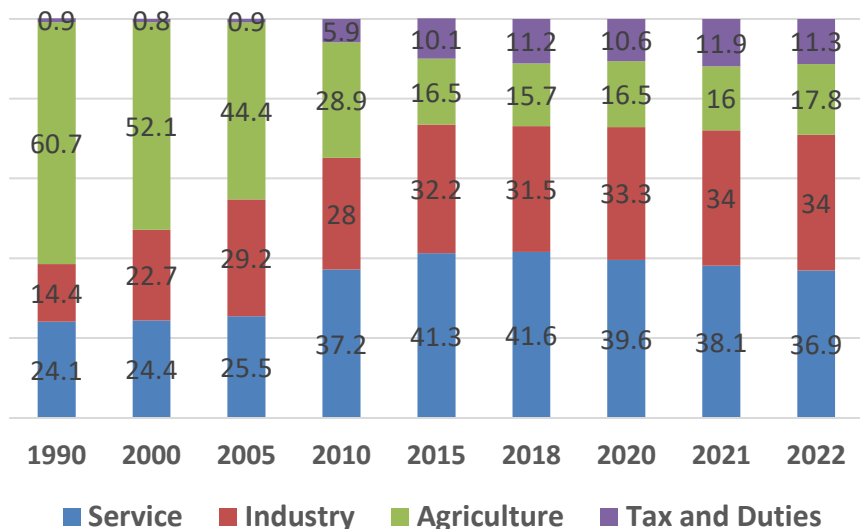
【IMF及び世界銀行による低所得国向け債務持続性分析に基づくリスク評価（2023）】

In debt distress

【信用格付け機関による格付け】

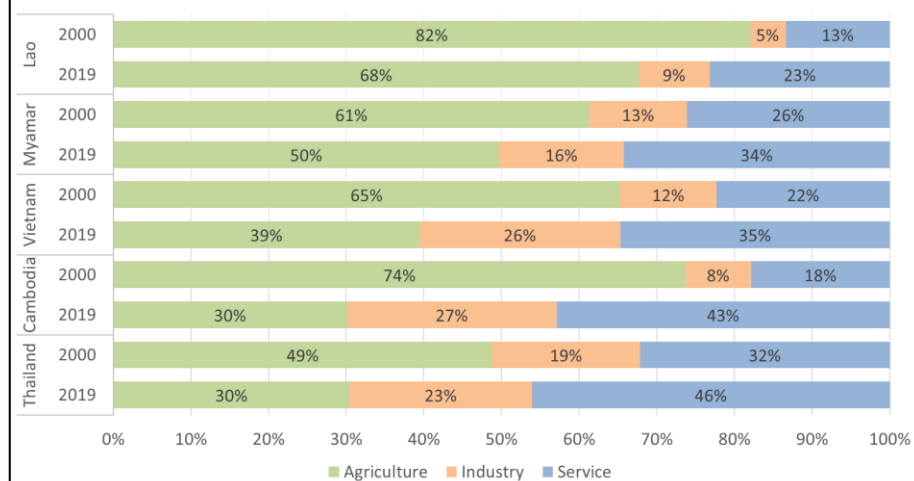
- ・TRIS（2023/9現在）：BB+
- ・Fitch（2022/10現在）：格付取下げ（Withdrawn）
- ・Moody's（2022/6現在）：Caa3 Stable

ラオス産業セクター別GDP比率



(ラオス計画投資省統計局)

産業別労働人口比



(世界銀行)

- 各産業がGDPに占める割合は、サービス業が最も大きく、次に鉱工業が多くを占める。
- 農林水産業の生産額は年々増加しているものの、GDPへの貢献度は年々低くなっている。
- 2002年～2012年頃の天然資源ブームの期間、鉱業分野への投資増加により鉱業分野が拡大したが、それ以降の資源価格下落の影響もあり、鉱業分野の伸びは限定的。

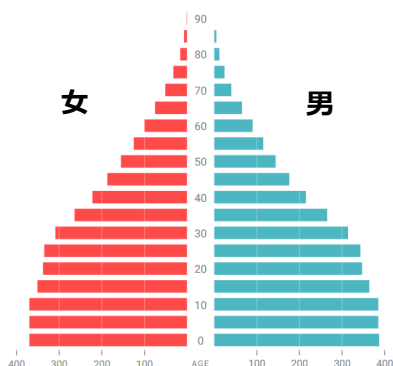
- ラオスにおいて、農林水産業分野のGDPへの貢献度は高くないものの、同分野の就業人口は約70%を占めており、生産性向上が課題となっている。
- ラオスにおいても周辺国と同様に、就業人口比率が工業分野やサービス業分野への割合が高くなっているが、これら分野の合計比率は2019年時点で30%と他国に比べ低い比率。

人口

東アジア太平洋諸国の中でも

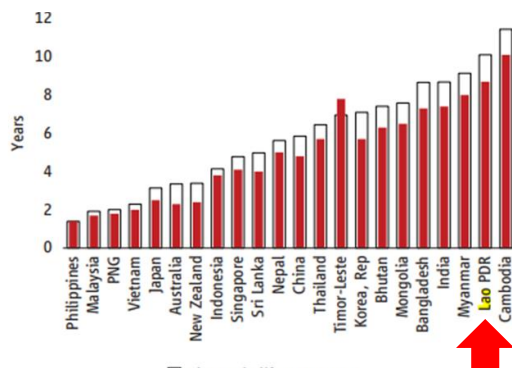
- 労働人口増加傾向
- 健康寿命と平均寿命の伸びが顕著
- 高齢化の速度が遅い

人口ピラミッド2022



(UNFPA)

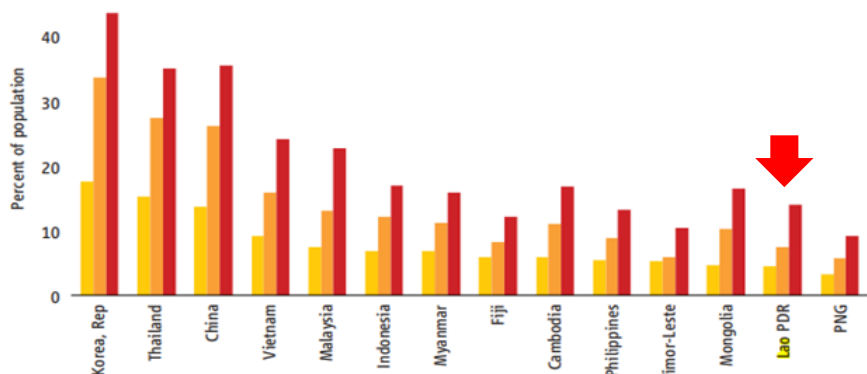
東アジア太平洋諸国の2000年から2019年の健康寿命と平均寿命の伸び



□ Change in life expectancy
■ Change in healthy life expectancy

(World Bank, 2023)

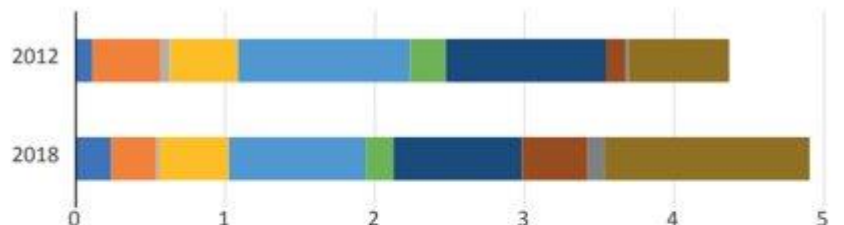
東アジア太平洋諸国の2022年（黄）、2040年（橙）、2060年（赤）の65歳以上の人口が各国総人口に占める割合



(World Bank, 2023)

雇用

対人口雇用率が2012年の81.9%から2018年には60.8%に減少



- Public sector wage worker
- Private sector non-farm wage worker
- Farm wage worker
- Non-farm self-employed
- Farm self-employed
- Non-farm unpaid family worker
- Farm unpaid family worker
- Seasonally unemployed
- Non-seasonally unemployed
- Out of labor force

(単位 百万人)

(World Bank, 2022)

社会保障は整備途上で、農村の相互扶助機能が補完。

ラオスの医療保障制度（JICAラオス事務所まとめ）

	国家健康保険制度	公務員社会保障制度	民間被用者社会保障制度	地域健康保険制度
制度開始年	2016 年	1995 年	2001 年	2004 年
対象	他の制度で対象とならない国民すべて	公務員とその扶養家族	1名以上の従業員を雇用する民間企業被用者とその扶養家族	他の制度で対象とならない首都ビエンチャン市の住民
財源	税	保険料（強制加入）	保険料（強制加入）	保険料（任意加入） 保険料の半額は政府負担
カバー人口（2022 年） ¹⁵	74%	合計で 20%		0.4%
備考	貧困者の窓口負担は免除 首都ビエンチャン市には導入未。	公務員のうち軍と警察は別制度。警察は国家健康保険制度に統合されたが、軍は統合未。	対象であっても、加入していない企業が多い。企業が加入していない場合、被用者は国家健康保険制度でカバーされる。	首都ビエンチャン市のみ。原則世帯加入。
5 歳未満児および妊娠出産に関する医療サービスは無料				

(JICA保健政策アドバイザーまとめ、2022年データ)

ラオスの概況（運輸交通）

道路・橋梁

鉄道

東西・南北経済回廊を中心に道路、橋の整備が進行。

区間	資金調達	開通時期
国際橋梁：第一友好橋	豪州支援	1994年4月
国際橋梁：第二友好橋	日本支援	2007年1月
国際橋梁：第三友好橋	タイ支援	2011年11月
国際橋梁：第四友好橋	タイ・中国支援	2013年12月
国際橋梁：第五友好橋	タイ支援	2024年11月（予定）
高速道路：Vientiane～Vangvieng	中国支援	2020年12月
高速鉄道：Vientiane～Boten	中国支援	2021年12月

空港

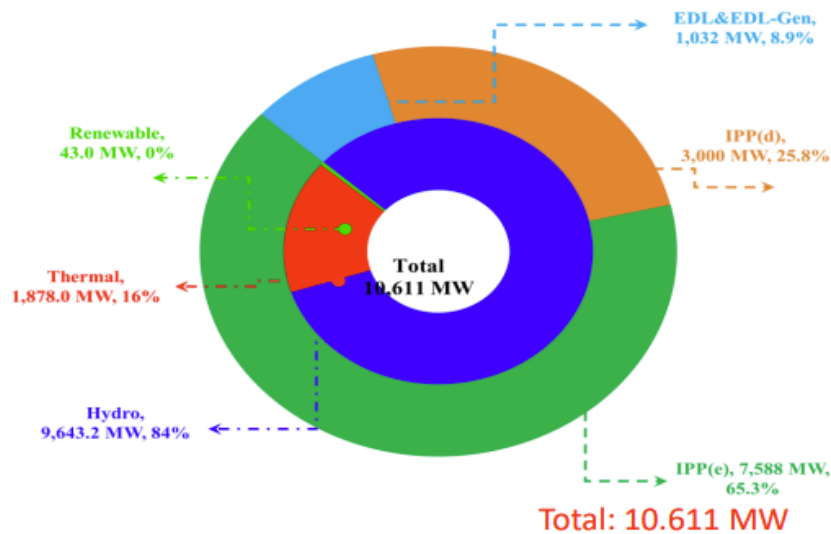
首都ビエンチャン玄関としてのWattay空港が日本政府の支援で2018年に再整備された。



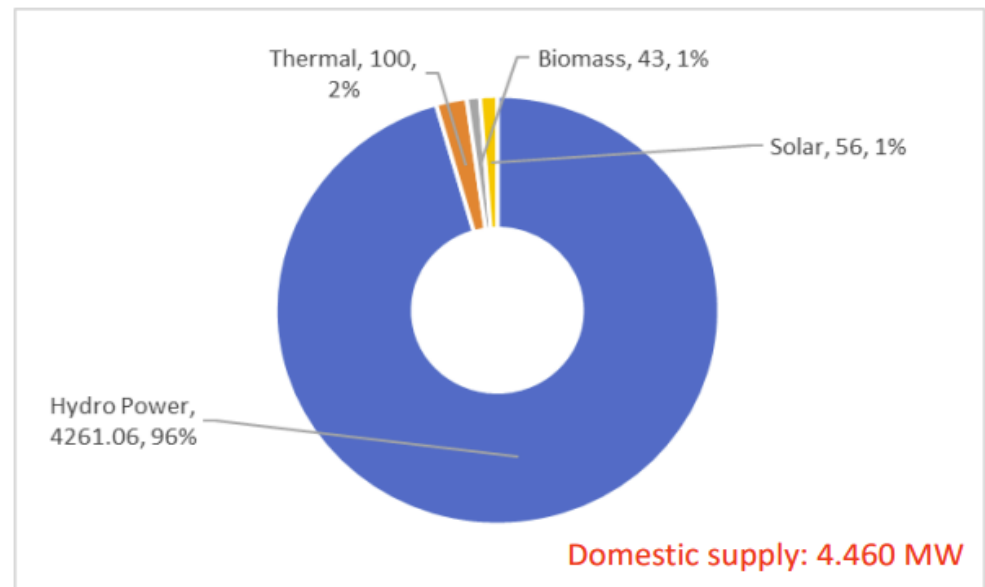
電力

国内向けの発電設備容量の9割以上は水力発電で、輸出を合わせても8割以上を占める。
IPP（民間発電事業者）による発電所の建設・運営が全体の9割を占める。

Whole country Generation Capacity in 2022 (MW)



Domestic Generation Capacity in 2022 (MW)



水道

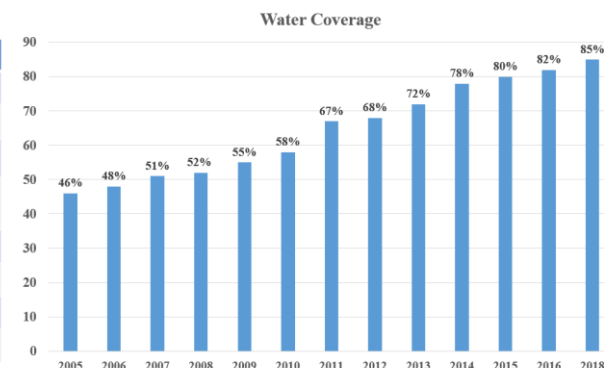
都市部における給水率は8割程度まで到達しているものの、全国的にみると3割以下と給水率が低い状況である。今後、2030年までに都市部における給水率を9割まで上げること（国家目標）、並行して地方部も含めて全国的に給水率を上げることが期待されている。

ラオス水道セクター基本情報

（水道公衆衛生戦略P7より作成）

		1992(参考)	2011	2021末
1	全国給水率の推移	10%未満	-	26.35%
2	都市部給水率の推移	-	57.39%	77.40%
3	浄水場の数の推移（全国）	5	87	174
4	浄水場の処理能力の推移（全国）	-	354,828m ³ /d	681,322m ³ /d
5	給水区域数	-	-	111
6	給水対象郡	-	73	117
7	給水対象村	-	846	1,480
8	給水人口	-	1,003,502	1,842,077

首都ビエンチャン水道普及率（都市部）



（暫定版）	2019年	県内人口	計画給水 区域内人口	給水人口	水道 メーター数	職員数 （正規）	浄水 場数	浄水能 力 （m ³ /日）	無収水率 （%）	（都市部） 水道普及率	（県内） 水道普及率
	都県名	①	②	③					2019	③÷②×100	③÷①×100
中部	1 Vientiane Capital	835,410	714,325	648,618	142,704	597	14	290,230	30.00	90.80%	77.64%
北部	2 Phongsaly	186,189	34,457	25,722	6,866	61	7	3,790	40.00	74.65%	13.81%
	3 Luangnamtha	187,896	74,116	55,662	13,151	97	9	8,130	20.00	75.10%	29.62%
	4 Oudomxay	340,667	84,528	69,235	14,821	94	9	15,690	31.00	81.91%	20.32%
	5 Bokeo	198,933	45,029	42,371	10,128	82	6	7,909	24.00	94.10%	21.30%
	6 Luangprabang	456,994	128,222	114,724	25,137	154	10	43,089	29.66	89.47%	25.10%
	7 Houaphanh	242,219	48,781	42,552	9,619	65	5	8,350	33.00	87.23%	17.57%
	8 Xayabouly	396,529	118,241	111,388	18,284	92	12	18,450	24.00	94.20%	28.09%
	9 Xiengkhouang	229,261	73,435	45,851	8,832	59	7	38,263	52.50	62.44%	20.00%
	10 Vientiane	385,792	95,967	68,028	14,022	102	8	15,450	22.08	70.89%	17.63%
	11 Bolikhamxay	313,951	104,189	51,733	11,307	100	17	16,920	22.00	49.65%	16.48%
南部	12 Khammouane	415,899	95,710	50,761	10,761	135	6	20,600	28.10	53.04%	12.21%
	13 Savannakhet	1,016,991	111,426	59,115	26,306	51	11	58,980	21.00	53.05%	5.81%
	14 Salavane	434,404	65,554	52,434	8,743	62	8	7,300	14.00	79.99%	12.07%
	15 Sekong	126,011	48,788	39,873	7,996	60	5	8,400	27.17	81.73%	31.64%
	16 Champasack	694,023	190,323	125,859	24,068	109	4	20,710	36.00	66.13%	18.13%
	17 Attapeu	119,435	41,252	21,140	4,228	42	2	4,300	13.00	51.25%	17.70%
	18 Xaysomboun	92,682	6,719	5,010	1,010	18	1	1,500	34.00	74.56%	5.41%
合計		6,673,286	2,081,062	1,630,076	357,983	1,980	141	588,061		78.33%	24.43%

※ベースのデータは2019年版水道セクター年報参照

※異常値の修正は2015年時点Sensusまたは2018年データ版水道セクター年報を参考

教育

【初等教育】

純就学率は9割を達成。ただし、最終学年到達率は8割程度。2019年に実施された学習達成度調査（SEA-PLM）では、小学5年生の8割以上が適正な習熟度に達しておらず、教育の質の改善が期待されている（東南アジア6カ国で最下位）。

SDG4：質の高い教育の普及

指標	最新（％）	2025（目標）（％）
就学前教育における総就学率	82.7	86
初等教育最終学年までの残存率	80.1	90

指標	最新（％）	2025（目標）（％）
前期中等教育における総就学率	83.3	87
後期中等教育における総就学率	52.1	60

指標	2017（％）	2025（目標）
最低限の読み書きの習得・小学3年生	34	50
最低限の算術の習得・小学3年生	18	30

《参考》

ラオス教育スポーツ省 Education and Sports Sector Development Plan 2021-2025

【高等教育】

経済状況の悪化に伴い出稼ぎに出る若者が増加し、入学希望者が減少している。

<国立大学の入学者数減少（2023年8月）>

1. ソパヌボン大学 受験者484 定員1566
2. サワン大学 受験者271 定員1516
3. チャンパ大学 受験者221 定員1405
4. ラオス国立大学 受験者7,440 定員6,688

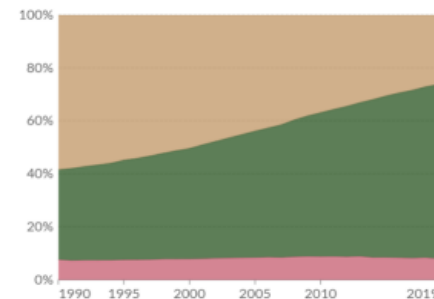
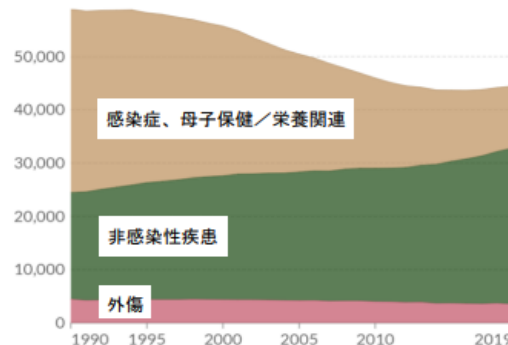


《参考》 教育スポーツ省副大臣Facebook投稿より

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=2135805499962497&set=a.118171211725946&type=3&mibextid=5eVWNK>

保健

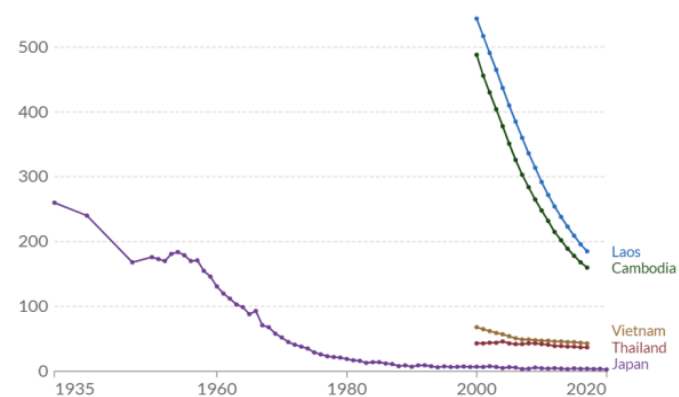
栄養、乳幼児死亡率、妊産婦死亡率等の指標は、近年改善傾向にあるものの、ASEAN諸国の中で最低水準。今後も継続的な取り組みが必要。一方で死因はNCDsが増えつつある。➡



【妊産婦死亡率⁸⁾】

SDG2.2：栄養不良の解消

指標	最新 (%)	2025(目標)
5歳未満の身長に対し低体重の割合, 消耗症, Wasting	9.0 ('22)	13
5歳未満児の年齢に対し低身長の割合, 発育阻害, Stunting	27.7 ('22)	25



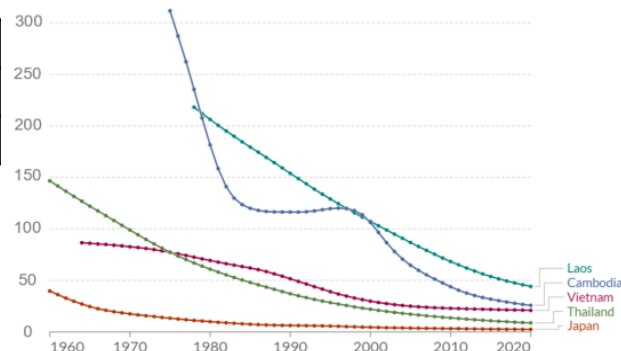
SDG3.1：妊産婦死亡率の減少

指標	最新	2025 (目標)
妊産婦死亡比 (/出生100,000)	126 ('20)	110
医療従事者による分娩介助率 (%)	77 ('19)	90

【5歳未満児死亡率⁹⁾】

SDG3.2：新生児及び乳幼児の死亡率の削減

指標	最新	2025 (目標)
5歳未満児死亡率 (/出生1,000)	43 ('21)	30
乳児死亡率 (/出生1,000)	34 ('19)	20



SDG3：受療者の経済的負担軽減

指標	最新	2025 (目標)
健康保険カバー率	94 ('22)	80以上

農業

●北部（ルアンパバーン県周辺）

山岳地帯が多く、コメの生産量は少ない。また、中国と接し、高速鉄道が縦断しているため、中国資本が山の斜面でバナナやサトウキビ、キャッサバ、ゴム、綿花などの大規模プランテーションを経営。

●中部（首都ビエンチャン周辺）

メコン川沿岸では稲作が盛ん。サバナケット県は国内コメ生産量の1/4を占めている。都市需要に向けた野菜や果物の生産も多い。

●南部（チャンパサック県周辺）

南部各県にまたがるボロベン高原は、様々な営農形態に適しており、主としてコーヒー、葉物野菜、果樹等作物の栽培が盛ん。また、養鶏で有名な企業の本社があるためか、養鶏数が非常に多い。



○主要農産物の生産状況

（単位：万トン）

	ラオス					日本
	2015	2016	2017	2018	2019	2019
コメ(粳)	410	415	404	358	344	1,053
キャッサバ	238	241	228	228	226	-
さとうきび	202	202	176	183	197	116
バナナ	79	80	95	97	106	0.0006
とうもろこし	152	155	119	98	72	0.01

【ビエンチャン】

- ビタパーク経済特区
- サイセター総合開発区

進出例) スーツ、子供服、安全靴、ワイヤーハーネス、ケーブル、電気機器、バイク部品、キャスター、おもちゃなど

【サバナケット県】

- サワン・セノ経済特区

進出例) カメラ、コイル、ケーブル、靴下、おもちゃ、化粧品等

【チャンパサック県】

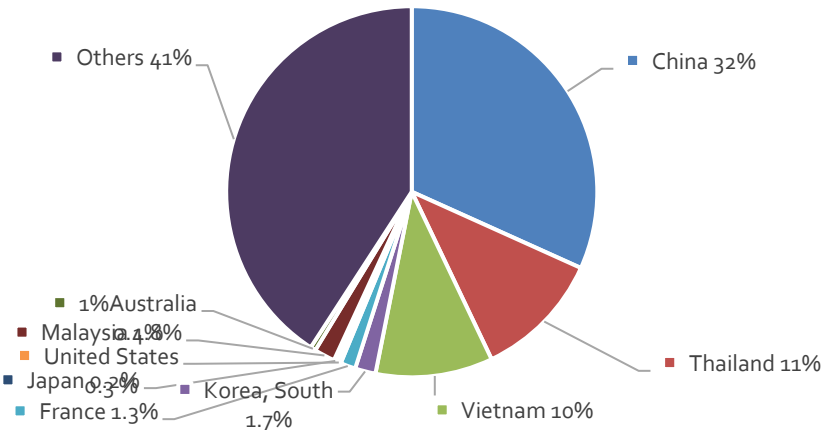
- パクセー・ジャパン中小企業専用経済特区

進出例) 子供服、剣道用品、ハーネス、電子部品、化粧筆、コンクリート、和装品、ジュエリー、タバコ製品等

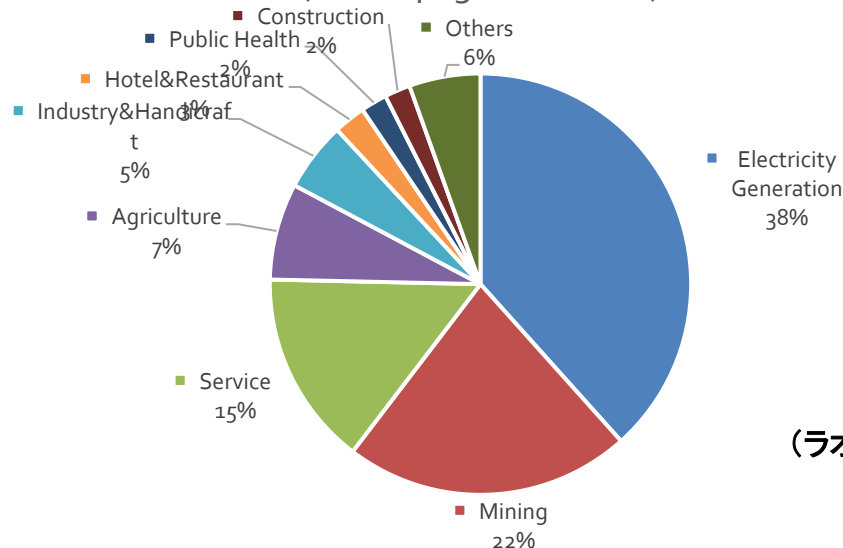


SEZ国家委員会が承認したSEZは12か所あるが日系企業が入居しているのは上記4か所

Investment to Laos by country 1989-2021
(Total: 42.2 billion USD)



Investment to Laos by Sector 1989-2021
(Total: 42.3 billion USD)



投資

- ラオスへの投資は、中国、タイ、ベトナムの三か国が主要な投資元となっており、同時にラオスの主な貿易相手国となっている。
- 2002年から2012年頃までの経済を資源セクターが牽引してきたことから、これまでの累積投資額を見ると発電、鉱業部門への投資額が大きくなっている。
- 投資奨励法では投資は、一般投資、コンセッション投資、経済特区（SEZ）への投資の3つに分類されている。それぞれの投資について、一般投資はラオス商工業省、コンセッション投資については計画投資省、SEZへの投資については計画投資省傘下のSEZ委員会が所管している。

（ラオス計画投資省）

ラオスの概況（不発弾UXO）

不発弾

- 推定約8,000万の不発弾（クラスター爆弾の子爆弾）
- ・ 2020年までの被害者数約50,000人

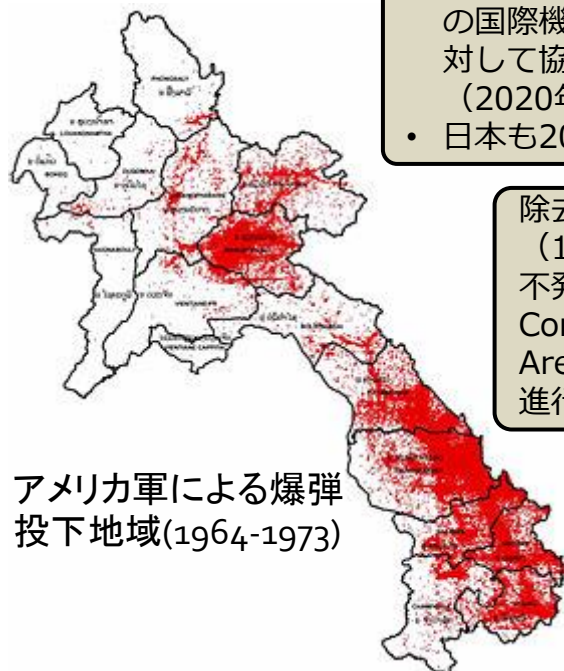


- ・ ラオスは世界最大の不発弾汚染国
- ・ 不発弾は国土の開発の妨げ、貧困の要因の一つ、除去が人道的課題
- ・ 国家SDGs目標「ゴール 18：Lives safe from UXO」（不発弾の被害者の大幅な削減）を設定

▲
クラスター爆弾（数百の子爆弾を投下時散布する）

- ・ アメリカを含む12か国、8つの国際機関やNGOがラオスに対して協力を行っている（2020年現在）
- ・ 日本も2000年代から協力実施

除去済面積は約709km²（1997～2020年）
不発弾残留地域（CHA：Confirmed Hazardous Area）を特定する調査が進行中

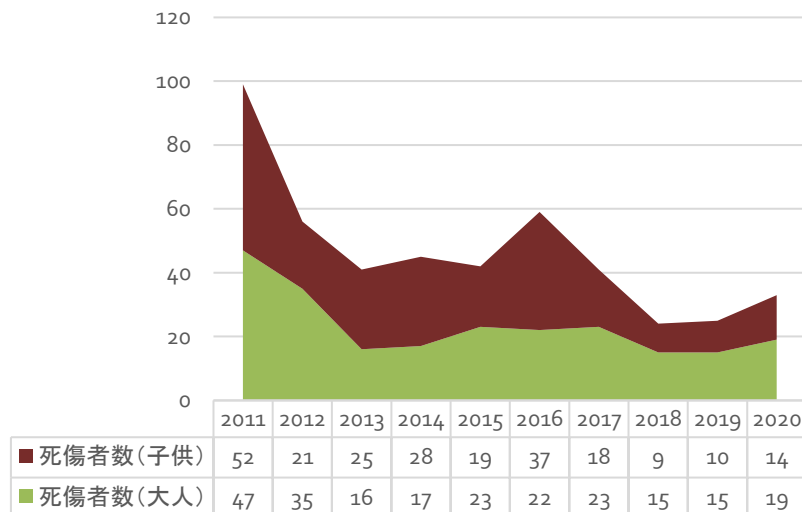


アメリカ軍による爆弾投下地域(1964-1973)

The Safe Path Forward III(2021-2030のUXOに関する国家戦略文書) が達成を目指す主な目標

- 目標1：不発弾による犠牲者を10年間で380人以下にする（年平均38人以下）。
- 目標2：25万haのCHAを特定するための調査を実施。
- 目標3：10万haの農業・開発用地の不発弾除去を実施。
- 目標4：11,400人の不発弾被害者の社会復帰のための生計向上などを支援。
- 目標5：関連セクターの計画に不発弾に関する活動を含める。

不発弾被害報告数(2011年-2020年)



【JICAラオス事務所】

2nd Floor, Sacombank Building, 044

Haengboun Rd, Ban Haisok,

Chanthabouly District,

Vientiane Capital, Lao PDR

Tel : +856-21-241100

<http://www.jica.go.jp/laos/office/>

Facebook: JICA Laos

